

ICT通信

宿題を出すのに 便利なアプリ

第8号 令和6年3月14日発行
ICT活用推進委員会

1 宿題を出す際に使えるアプリ

先生方のタブレットにすでに入っている「ロイロノート・スクール」と「スクールワーク」は、児童生徒に宿題を出す際に活用できるアプリであることをご存じでしょうか？すでに宿題で使っている先生方もいらっしゃると思いますが、今回は二つのアプリを使った宿題の出し方とスクリーンタイムについて紹介したいと思います。

2 「ロイロノート・スクール」を使った宿題の出し方



今回は iCloud に保存した PDF ファイル（無料学習プリント）を使って宿題を出す方法について簡単に紹介します。手順については次の①から⑦で完了します。

- ① タブレットでサファリを開き、インターネットから無料学習プリント（PDFファイル）を開きます。
- ② 【写真A】の「共有ボタン」をタップし、「ファイルに保存」をタップします。
- ③ 宿題を出したい児童生徒が参加している「ロイロノート」の授業を開き、「ファイル」→「ファイル」をタップ。「iCloud Drive」をタップすると保存したPDFファイル（無料学習プリント）があるので、該当ファイルをタップし、ノート上に出します。
- ④ PDFファイル（無料学習プリント）を「送る」のところに Drag&Drop します。さらに、「個人」を選択してカードの送り先（児童生徒名）にチェックを入れて「送る」をタップします。
- ⑤ 「提出」をタップして「+ 新しい提出箱を作る」から提出箱のタイトルを入力します。今すぐ募集を開始する場合は該当箇所をタップし、提出の締め切り日時を設定します。
- ⑥ 最後に「募集開始」をタップすると宿題用の提出箱がノート上部に表示され、児童生徒のタブレットにも同じように表示されます。
- ⑦ 児童生徒のタブレット内で宿題が完成したらPDFファイル（無料学習プリント）を「提出」に Drag&Drop し、該当する提出箱に入れたら児童生徒側の操作は終了です。

【写真A】



「送る」



「提出」

※提出されたPDFのプリントを添削後に間違い等を修正して再提出させたい場合（長期休業中など）は、次の方法があります。

提出されたPDFプリントは提出箱の中で添削をして「返却」をタップすると、添削した跡が児童生徒側の提出箱に反映されます。しかし、児童生徒側のノート上には現れないため、添削後に「書き出し」をタップして、自分のノート上から該当児童生徒に「送る」と児童生徒のノート上にPDFファイルを表示させることができます。

『iCloud Drive』については
ICT通信第1号をご覧ください！

3 「スクールワーク」を使った宿題の出し方



「ロイロノート」と同様に iCloud に保存した PDF ファイル（無料学習プリント）を使って宿題を出す方法について簡単に紹介します。手順については次の①から⑧で完了します。

※「iCloud Drive」に保存する手順は「ロイロノート」に示した手順①②のため省略します。

- ①「スクールワーク」を開きます。
- ②自分のクラスをタップし、右上の  マークをタップします。
- ③宿題の「タイトル」を入力し、配付先（タイトルの下）をタップします。自分のクラスで宿題を出したい児童生徒にチェックを入れ、「完了」をタップします。
- ④「期日（締切）」を設定します。配付日を設定すると「スケジュール済」に入り、配付日時を指定できますが、配付できないことが時々あるので、配付は「今」をおすすめします。（配付するときに「公開できません」と表示され、配付できないことがありました）
- ⑤「 アクティビティを追加」をタップし、さらに「ファイル」をタップします。「iCloud Drive」内に保存されている無料学習プリント（PDF ファイル）を選択します。
※複数のプリントを出す際は⑤の操作を繰り返します。間違えて追加した場合はアクティビティの帯の部分の部分を左にスワイプするとゴミ箱マークが出て削除できます。
- ※PDF ファイルだけでなく、「写真ライブラリ」の写真や「ふりかえりフォーム」も配付することができます。写真を配付して学校での学習の様子を家庭と共有したり、振り返りをして学習内容の理解度を確認したりすることができます。
- ⑥宿題に関する連絡事項があれば「説明を追加」に入力してください。
- ⑦準備が整ったら最後に「公開」をタップすると選択した児童生徒に配付されます。
- ⑧宿題が完成したら「完了にする」をタップすると児童生徒側の操作は終了です。

※児童生徒も操作に慣れておく必要があるので、初めて宿題を出す場合は学校で操作方法を確認しておくことがベストです。



課題を再提出してほしい場合は？

※配付した課題が児童生徒側から提出されると、PDF ファイルの左に「確認の準備ができました」と表示されるので、右の PDF プリントをタップすると答えを添削できます。間違い等の修正を児童生徒に促したい場合には、PDF プリントの隣の「3点マーク」から「再提出を指示」をタップすると添削結果が児童生徒のスクールワークに反映されます。すべて添削が終わったら、「生徒に返却」をタップして終了です。



3学期中に練習しておくことで、新学期からタブレット型端末の持ち帰り学習が始められます。ぜひお試しください！

※「ロイロノート・スクール」及び「スクールワーク」による宿題の出し方を練習する際は、児童生徒のタブレットも準備して、両方の画面を見ながらやると分かりやすいです！

4 「スクリーンタイム」とは？

家庭へのタブレット型端末の持ち帰り学習において最も心配されるのが、過度なアプリの使用やYouTube等の視聴です。タブレット型端末の持ち帰り学習を行う際に、そのような傾向が心配される児童生徒がいる場合は、「スクリーンタイム」で使用を制限することが可能です。スクリーンタイムでは、iPadの画面から離れる時間をスケジュールしたり、アプリの使用時間の制限を設定したりすることができますので、活用してみてください。

5 スクリーンタイムのかけ方

- ①「設定」→「スクリーンタイム」→「スクリーンタイムをオンにする」をタップ。
 - ②「スクリーンタイムをオンにする」をタップ。
 - ③「これは子供用のiPadです」を選択。
 - ④「Webコンテンツ」→「許可されたWebサイト」を選択し、「制限をオンにする」をタップ。
 - ⑤”休止時間をオンにする”をタップ。
 - ⑥「あとで設定」をタップ（スクリーンタイム後の「設定」の中で変更することができます）。
 - ⑦「スクリーンタイムパスコード」が分からない場合は図書情報教育部員にお尋ねください。
 - ⑧「スクリーンタイムパスコードの復旧」は担任の先生のAppleIDとパスワードを入力。
- ※これでスクリーンタイムがかかりました！解除の際もパスコードが必要ですので覚えておきましょう。

【②】



【③】



【④】



【⑤】



【⑥】



【⑦】

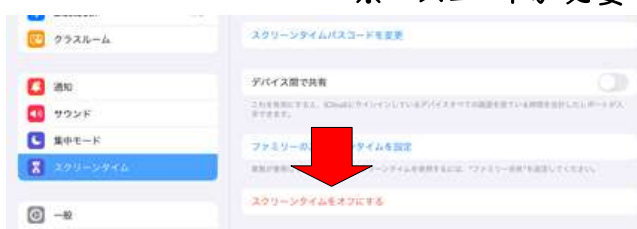


【⑧】



【スクリーンタイムの解除はこちらから】

※パスコードが必要



学校で授業（調べ学習等）を行う際に支障が出るので持ち帰り学習以外のときはスクリーンタイムをオフにしましょう。